

悲劇のない、 平和な沖縄を

相次ぐ米兵犯罪に抗議します

沖縄でまた、米兵による女性への性的暴行事件が起きていたことが明らかになりました。昨年末には、相次ぐ米兵事件の再犯防止を求める県民大会が開かれたばかりです。沖縄県の玉城デニー知事は、「1年の間に女性の人権や尊厳をないがしろにする重大かつ悪質な犯罪が5件も発生したことは極めて遺憾で、激しい怒りを覚える」と述べ、日米政府の「再発防止策」の実効性のなさに抗議しました。

米兵犯罪の根底にあるのは、日米地位協定で特権を与えられ、日常的に殺人訓練をくり返す米軍基地の存在です。



決して黙認しないで

「大人の都合で『安全保障』と言いながら、子どもや女性の安全が脅かされ、人権が侵害されるのはおかしい」

「日本国民みんなが当事者の問題です。決して黙認しないでほしい」

(24年12月22日、米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める沖縄県民大会生徒アピールより)

辺野古新基地建設は中止を

環境も
民主主義も
平和も壊す

政府は「沖縄の負担軽減」という一方、名護市辺野古への米軍新基地建設を強行しています。新基地は、多様性豊かな大浦湾の生態系を破壊します。これを政府は、公約に沿って基地建設反対を貫く沖縄県知事の権限を奪い、代執行という強権的な方法で進めています。

完成するのは巨大な軍事要塞です。環境も民主主義も地方自治も平和も壊し、私たちの血税を数兆円規模で投入する新基地建設は、ただちに中止すべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも！

日本平和委員会 2025年1月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中
<http://j-peace.org/>  

